

さが 探してもらった生きものたち



調べた場所

今回は、大きな湖がある区のマップを作りました。北区、中央区、西区の他にも西蒲区や市外からの報告もありました。

結果

夏版、秋冬版あわせて313件の報告がありました。集計結果は右の表のとおりです。

分かったこと

- 夏のアブラゼミや秋冬のセイタカアワダチソウ、カラスなど、街中にもいろいろな生きものが見られました。
- 田んぼや水辺、湯にもたくさんの生きものが生活しています。

まとめ

確認の様子や名前は、みんなの報告をそのままのせました。新潟市には、今回の調査の対象となった種類以外にも、たくさんの生きものが生活しています。新潟市の調査では、動物や植物など6,000種類もの生きものが確認されています。まだ見たことのない生きものもあるかもしれません。これからも、いろいろな生きものを探して観察してみましょ。きっと新しい発見がたくさんありますよ。

種類	北区	中央区	西区	合計
カエルの	4	0	12	16
セミ	6	9	31	46
カメ	1	1	3	5
ツバメ	7	2	6	15
アメリカザリガニ	2	1	9	12
ハクチョウ	33	7	29	69
赤とんぼ	13	3	1	17
セイタカアワダチソウ	14	7	6	27
スズメ	12	4	6	22
カラス	22	12	9	43
その他の種類	5	2	36	43

発行
 新潟市役所 環境政策課 自然保護係
 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
 Tel. 025-226-1359 Fax. 025-230-0467



北区 生きものマップ



福島潟のある北区

北側の砂丘地帯には畑が広がります。真ん中付近には豊栄、早通、新崎など大きな住宅地があり、その南側には田んぼが広がります。新発田市との境には福島潟という大きな潟があります。

○の色は見つけてくれた種類の色になっています。

こんな様子だったよ

アメリカザリガニ

- 善堀川で、スルメをエサにして釣り上げたよ。
- 福島潟の近くで見かけたよ。



セミ

- アブラセミが家の網戸にとまっていたよ。
- 木にとまって大きな声で鳴っていたよ。



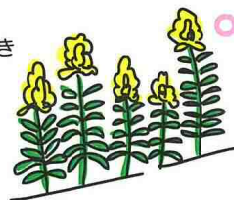
ツバメ

- 学校の校舎の外階段に巣を作っていたよ。
- ツバメのヒナがピーピー鳴っていたよ。
- 犬の散歩で前を通る家に、いつも巣を作っているよ。



セイタカアワダチソウ

- 登下校で通る道や家の近くの空き地に、まとまって生えていたよ。
- 背の高いものと背の低いものがあったよ。
- セイタカアワダチソウで染め物を作ったら、きれいな黄色になったよ。

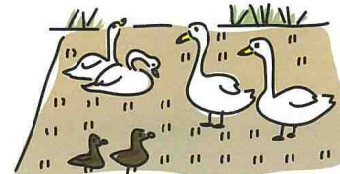


セイタカアワダチソウの秘密

セイタカアワダチソウには、ふたつの秘密があります。ひとつは、普通の植物が種を飛ばして増えるのに対して、セイタカアワダチソウは、根っこから新しい芽をだして増えることができます。もうひとつは、その根っこから、植物の成長を邪魔する成分をだして、周りの植物や自分自身を弱らせてしまいます。

ハクチョウ・オオヒシクイ

- 朝や夕方に家の上を飛んでいるよ。
- 田んぼにみんなで集まって、落ち穂を食べていたよ。
- 車からいつも同じ田んぼにいるところを見かけるよ。
- ハクチョウとオオヒシクイがいっしょにいたよ。



こんな様子だったよ

ツバメ



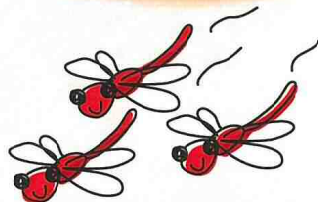
- ・人の家の車庫から飛び出してきたよ。
- ・学校の校舎の高いところに巣があったよ。

カラス

- ・家の近くの田んぼでエサを探していたよ。
- ・夕方になると、たくさんのカラスが松林に飛んでいったよ。
- ・家の近くで2羽のカラスが喧嘩していたよ。

赤トンボ

- ・鳥屋野潟スポーツ公園で、赤とんぼが肩に止まったよ。
- ・鳥屋野潟公園で、いろんな赤トンボを見かけたよ。
- ・アキアカネが学校のグラウンドで飛んでいたよ。



アキアカネ



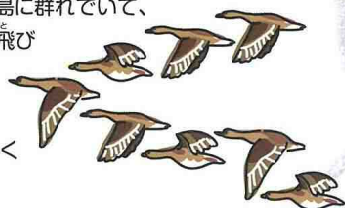
ナツアカネ



ノシメトンボ

ハクチョウ・マガン

- ・オオハクチョウがコーコーときれいな声で鳴いていたよ。成鳥は白くてきれいだったよ。
- ・早朝、鳥屋野潟の浮島に群れていて、しばらく見ていたら飛び立っていったよ。
- ・鳥屋野潟の上で、マガンの群れが仲良く飛んでいたよ。



里潟のお話

新潟市の「潟」は、昔は魚とりや米作り、カモを捕ったりハスやヒシ、ヨシなどを収穫したりと、たくさんの人に利用されていました。また、潟を利用するためにいろいろな手入れがされて、人との関わりの中で潟が守られてきました。このような人とのつながりが深い潟を「里潟」と呼んでいます。「里潟」を大切にしている方法を皆さんと一緒に考え、行動していきたいと思います。

中央区

生きものマップ



○の色は見つけてくれた種類の色になっています。

こんな生きものも見つけたよ

カブトムシ

木に止まっていたよ。

メダカ

他の魚といっしょに泳いでいたよ。

フナ

少いうろこごとれていたよ。

カワセミ

水路で餌の魚を取っていたよ。

ヒレンジャク

木にずっと止まっていたよ。

カナヘビ

じっと止まっていたけど、手を近づけたら逃げて行ったよ。

鳥屋野潟のある中央区

新潟市の中心部で住宅地や商業地が多く見られます。また、信濃川が西から東に流れています。新潟駅の南側に鳥屋野潟という大きな潟があり、その南側には田んぼも見られます。

にし 西 区

いきもの マップ



ゆづも
きれいにみえる

佐潟のある西区

北東側には住宅地が多く見られますが、海沿いには砂丘地帯が広がっており西側を中心に畑もたくさん見られます。南西側に佐潟があり、その東側には田んぼが広がっている場所もあります。



○の色は見つけてくれた種類の色になっています。

カメ

- 佐潟橋の近くで、クサガメが気持ち良さそうに泳いでいたよ。
- ミシシippiaアカミミガメの赤ちゃんを見つけたよ。



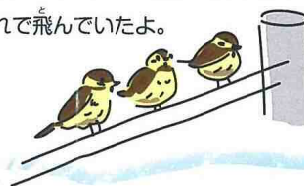
カエル

- 怪我をしていて、うまく飛べない様子だったよ。
- ウシガエルが水の中から顔を出してヴォーヴォーと鳴いていたよ。



スズメ

- 電線にたくさんとまって、チュンチュンと鳴いていたよ。
- 両足でジャンプして、動いていたよ。
- 群れで飛んでいたよ。



こんな様子だったよ

アメリカザリガニ

- 佐潟にたくさんいたよ。
- 片方のハサミだけ大きいザリガニがいたよ。
- 脱皮するたびに、色が青くなる不思議なザリガニを見つけたよ。



ハクチョウ

- 佐潟でたくさんのハクチョウが鳴いていて、鳴き声がすごく大きく聞こえたよ。
- Vの字で飛んでいて、きれいだったよ。
- 水にもぐったり、出たりしていたよ。
- 田んぼで落ち穂を食べていたよ。特に、水を張った田んぼにたくさんいたよ。



新潟市の日本一

新潟市には、冬になると佐潟や鳥屋野潟、福島潟などにハクチョウなどの渡り鳥がたくさんやってきます。渡り鳥が、秋に日本にやってきて冬を過ごし、春にまた帰っていくことを「越冬」といいますが、新潟市は、「越冬」するコハクチョウの数が日本一だと言われています。新潟市では、田んぼにハクチョウがいる景色を見ることができるとは、他の場所ではなかなか見ることができない貴重な景色なのです。

こんな渡り鳥も見つけたよ

コガモ

大きな鳥に驚いて飛んでいったよ。

マガモ

小さな舟に乗っていたよ。

サギ

ハクチョウを探していた時に、白いサギを見つけたよ。

ミヤマガラス

たくさんの群れで、田んぼで餌を食べていたよ。